

学校体制

* 平成28年度は、以下のような学級編制、職員体制、役割分担で学校教育を進めます。
どうぞよろしくお願ひいたします。

校長：安田彰浩（種川小学校に着任して3年目）

教頭：佐々木朗（〃2年目）

1・2年生：1年生4名、2年生1名・・・担任教諭：國井初士（〃6年目）

3・4年生：3年生1名、4年生2名・・・担任教諭：遠藤公彦（〃2年目）

5・6年生：5年生4名、6年生4名・・・担任教諭：山崎千佳子（〃4年目）

養護教諭・・・土井恵美（〃2年目）

事務職員・・・柳原あゆみ（〃2年目）

公務補（清掃委託）・・・安達佳久子（〃14年目）

○ 校内役割分担

教務部（教育課程の管理等）

：山崎千佳子・遠藤公彦

生徒指導部（児童の日常生活上の指導等）

：國井初士・土井恵美

研究部（学習指導に関わること等）

：遠藤公彦・山崎千佳子

健康部（体力・健康に関わる指導等）

：土井恵美・國井初士

事務部（児童・職員の事務に関わること）

：柳原あゆみ

○ PTA

事務局：佐々木教頭

会計：柳原あゆみ

研修委員会担当：山崎千佳子・遠藤公彦

生活委員会担当：國井初士・土井恵美



平成27年度3月異動の内田先生の出発式

4月行事予定

6日（水）始業式・入学式
着任式

8日（金）PTA三役会
総会

11日（月）朝会・児童会

12日（火）交通安全教室

13日（水）三計測・視力検査・聴力検査
尿検査（1次）

17日（日）PTA環境整備作業

18日（月）授業参観日

19日（火）全国学力学習状況調査（6年生）

20日（水）生活安全教室・職員会議 ブックン

21日（木）耳鼻科検診・尿検査（2次）

22日（金）貯金日・心電図検査



25日（月）朝会 4時間授業

26日（火）ロードレース試走

27日（水）ロードレース試走予備日

尿検査（3次）・町P連理事会

28日（木）開校記念日

29日（金）昭和の日



種小便い

今金町立種川小学校通信 平成28年4月6日発行 第1号

学校教育目標

- 学び合い 高め合う子ども
- みんなと協力し合う子ども
- 美しさを求め 心の豊かな子ども
- たくましく 健康な子ども

笑顔でいっぱい、また、あした

今金町立種川小学校 校長 安田彰浩

小学校のまわりにも、気持ちのよい春の風が吹くようになりました。あたたかな日差しでグラウンドの雪も随分ととけ、生命感にあふれた季節の到来です。

4月6日の入学式・始業式では、新1年生4名：伊藤圭莉奈（かりな）さん、久保田天海（あみ）さん、芳賀悠真（ゆうま）くん、村上晴哉（はるや）くんと2年生への転入生1名：小林慈和（しの）さんを迎える。種川小学校は16名の子どもが集う学校として、平成28年度をスタートしました。どの子もみんな、笑顔いっぱいに学校に通ってくれることが私の一番大きな願いです。

学校へ入学してくる時、初めてのところで不安もあるでしょう。でも、子どもたちは、「学校ってどんなところだろう、早く勉強したいな」という期待感で小さな胸がいっぱいになることだと思います。この期待に応え、充実感・満足感をいかに持たせることができるかが学校の仕事の一番のポイントだと思っています。そのためにまず、子どもの興味や関心、性格、得意・不得意など、子ども一人ひとりの実態をあたたかい目でしっかりと把握することに力を注ぎます。そして子どもの実態に基づき、一人一人に応じた指導や支援を充実させた「わかる・できる授業づくり」をチームで進めていきます。さらに、学校での子どもたちのがんばりや良さだけでなく、学校の考え方や抱えている課題なども保護者・地域の方々に積極的に発信していきます。そうして、子どもや学校に対する皆さまの願いや思いを聞き取りながら、一緒になって子どもたちの成長を考え合い、支えていきます。

新人の5名の子どもたち、そして、先輩となる11名の子どもたちの顔が、充実感と満足感に満ちた笑顔でいっぱいになるようがんばっていきたいです。

これから1年間、教職員一同力を合わせて、子どもたちの教育にあたってまいります。どうか、昨年同様、保護者・地域の皆さま方のお力添えをぜひよろしくお願いいたします。



複式での勉強の進め方って?

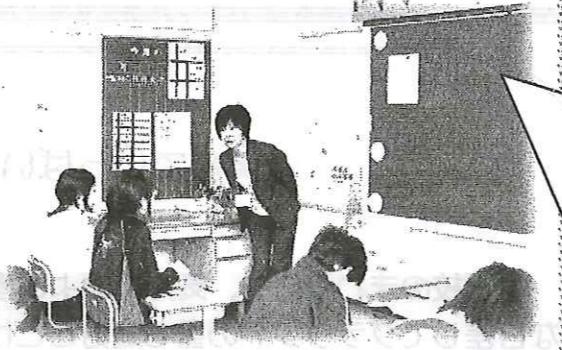
- 1・2年生学級、3・4年生学級、5、6年生学級で、基本的にはそれぞれの学級の担任が、複式で（1学級に複数学年の児童がいる学級のこと）授業を進めていきます。

※ 複式の授業の進め方

担任が片方の学年に教えている時、もう一方の学年の子どもたちは自分たちで相談し合いながら担任から指示された学習を進めていきます。1時間の授業の中で、担任から教えてもらう時間（直接指導）と自分たちで学習を進めていく時間（間接指導）が何度も入れ替わっていきます。自分たちでという点がポイントで、こうした経験を積むことで、自分で学んでいくという姿勢が育っていくといわれています。

その学年の中の誰かが先生の代わりとなって次に行なうことを指示しながら、子どもたちで学習を進めていく学習の進め方をガイド学習と呼び、より効果的な自学（子どもたち自身で進める学習）の在り方の一つとして先生たちの中での勉強を続けている最中です。

その教科の特質を生かして、なるだけ大勢で授業を行った方がよいと思われる時は、合同（2学級一緒に）や全校児童一緒に学習したり、複数学年での授業でない方が効果的と思われる時は、1学級の学年を分けて授業を行ったりする教科の持ち方の工夫を行っています。



平成27年度檜山へき地複式教育研究
大会今金大会での公開授業の様子

今年の教科の持つ方の工夫って?

今年は、下記のような教科担当で授業を進める予定です。

- 体育・・・全校一緒に 國井先生中心
- 音楽・・・週1回全校一緒に 遠藤先生中心、他は学級で複式指導
- 図工・・・週1回全校一緒に 山崎先生中心、他は学級で複式指導
- 外国語（5・6年）・・・教頭先生中心、町の国際交流推進アドバイザーのアマンダさんが毎回加わってくれます。
1～4年の外国語活動も同様です。
- 書写・・・学級担任が行いますが、ふるさと先生の吉田学さんが月2回程、授業に加わってくれます。
- 理科（5・6年）・・・それぞれの学年を教頭先生が担当します。
- 社会（6年）・・・校長が担当します。

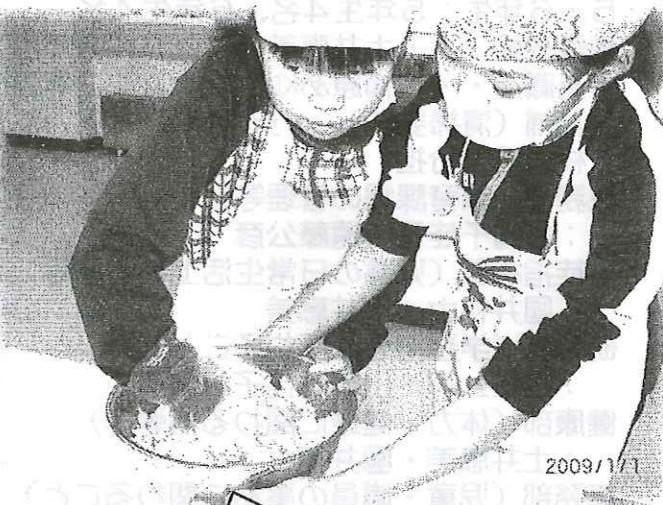


種小は特認校だって聞くけど?

今金の小規模特認校制度を利用して、種川小学校に種川小学校の校区以外の場所から3名の子どもたちが今年初めて転入学してくれました。複式の授業を進めるうえでも、全校一緒に授業を進めるうえでも、また、遊び友だちが増えるといううえでも、子どもたちの人数が増えるということはいろいろな意味で良い影響をもたらしてくれるものと思います。特認校制度が広く知られ、おおいに活用されるよう期待しているところです。

さて、特認校とはどういう学校のことなのでしょうか。特別な子どもたちが通う学校という意味ではもちろんありません。一言で言えば、種川小学校という小規模校での教育に魅力を感じお子様を合わせたいと思う方が、住所で指定される学校にとらわれずに選ぶことができる学校が種川小学校であり、そういう学校を特認校と呼んでいるということです。なか、特別な事情がある場合に教育委員会に申し出て学校を変える校区外通学と呼ばれるものとはまた違う制度にのつったものです。

この特認校制度が制定されたことに合わせて、種川連合自治会の中に小規模特認校推進協議会という組織がつくられ、学校で進めている種川小学校の広報活動の応援・協力をしてくれています。今年も、学校・PTA・小規模特認校推進協議会の3者で協力し合って広報活動等を進めています。どうぞよろしくお願ひいたします。



2009/1/1

高学年：育てた大豆を利用しての味
噌づくり（H27年度）



《 特認校として行っている活動 》

- 学校説明会・見学会の実施
- 学校案内の作成
- 学校の活動紹介DVDの作成
- 道路沿い大型看板を使っての活動紹介
- フェイスブックを利用しての活動紹介
(種川小学校 小規模特認校推進協議会で検索してみてください)
- 環境整備作業

子ども、先生、みんな一緒に、年に一度のバイキング給食

※ 学校として、一人一人に応じた丁寧な学習指導を進めること、ふるさと先生や各種出前授業等の魅力的な体験活動を豊かにすること、スキー・水泳学習といった種川の施設設備や自然を生かした活動の充実を図ることなどに力をいれて、特認校としてもっともっと魅力を感じていただけるよう、学校教育の充実を図っていきます。